

## 平成29年度 第1回 日進市子ども施策推進委員会 議事録要旨

日時 平成29年7月6日(木) 午前10時から

場所 日進市役所本庁舎4階 第3会議室

出席委員 白石淑江、津金美智子、増井澄満子、松原健、磯部尚美、牛田由美子、丹羽玲奈、青柳信弥、西田進太郎、山本佳代

欠席委員 友松守彦、齋藤由美、岡田美穂

事務局 (子育て支援課) 伊東次長、三好補佐、鳥居係長  
(こども課) 石川補佐

傍聴可否 可

傍聴有無 有(4名)

### <次第>

1 あいさつ

2 議題

(1) 子ども・子育て支援事業計画に係る評価シートについて

(2) 子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

(3) 保育園の定員について

3 その他

### <議事録要旨>

1 あいさつ

【委員長】(あいさつ)

2 議題

【委員長】議題(1) 子ども・子育て支援事業計画に係る評価シートについて説明をお願いします。

【事務局】(説明)

【委員】シート1-1の幼稚園補助について、支援は計画どおり実施できたと記載がありますが、どういった内容でしょうか。

【事務局】主に補助金の交付であり、経常経費や障害児の受け入れの部分等で支援を行っています。認可保育園についても、経常経費や人件費、地域活動に対する補助として要綱に沿って支援しており、こうした部分で計画どおり支援させていただいたとしています。

【委員】支援内容の変更はありますか。

【事務局】現時点では継続の見込みであり、変更予定はありません。

【委員】幼稚園でも保育園でも日進の子どもには変わらないので、平等に支援を行ってほしい。支援内容としては一定なので、何か付け加えられると良いと思います。

【委員】将来の方向性として、量的拡大も大切ですが、質の向上も大切です。各種指針の改定時期でもあり、質も向上させ、どのお子さんにも良質な教育、保育の機会を考えてほしい。

【事務局】質の向上は市としても重要と考えており、例えば公立保育園の園長経験者を再任用し、支援員として配置しています。公立、私立、認可こども園、小規模保育施設、認可外保育園につ

いて、それぞれ巡回し、適切な保育が実施されているか確認している他、指導や相談、助言等を行っており、人材育成についても力を入れていきたいと考えています。

【委員】保育の現場では、研修に時間を費やすことは難しいので、こうしたアドバイザーがいることは大変心強いと思います。非常に重要な支援ですので、引き続きお願いしたい。

【委員長】1歳児は6対1の基準ですが、日進市は4対1ということで、自治体として改善しており、質の向上を図っていく方向性であるということは補足したいと思います。

【事務局】巡回指導とあわせて、平成28年度から全体研修を公立、私立を問わず保育後に実施しています。いろいろな階層、技術の研修を実施し、質の向上を図る取り組みを実施しています。

【委員長】シート2-2にある利用者支援事業について、子ども・子育て支援新制度に定められていますが、こういった形で実施されていますか。

【事務局】相談に応じ、必要な支援やサービスとのマッチングを行うものですが、子育て総合支援センターでは基本型、保健センターでは母子保健型として実施しており、それぞれが連携を図りながら実施しています。保健センターでは妊娠期の方が訪れることから、妊娠期から産後まで切れ目の無い支援を行っています。

【委員】現在子育て総合支援センターで利用者支援を行っています。幅広い相談を受けています。始まって3ヶ月ですが、かなり多くの相談があり、訪問も実施しています。また、保健センターで実施している母子保健型のコーディネーターと連携を密に取っている他、必要な支援を受けられる前提で、保健センターと子育て総合支援センターとの間で情報交換を行っています。

【委員長】事業として始まったばかりであり、これから良い方向に進むように考えていただきたい。

【委員】シート4-5にある、にしんこども環境会議と子ども会議の違いと、子ども会議が未実施となっている点について教えてください。

【事務局】にしんこども環境会議は環境課所管のものであり、環境に対する課題について子ども達で検討してもらうものです。こちらについては、持続可能な社会づくりの人材育成の教育である、にしんESD普及啓発事業に統一されることになりました。一方、子ども会議は子育て支援課所管であり、日進市未来をつくる子ども条例に基づくものです。子ども達が集まり、自分たちの思っていることや考えていることを話し合う場であり、最終的には子どもを代表する立場として、この子ども施策推進委員会に参加することを想定しています。これまでの活動としては、子ども達が中心となり、自分たちの考えを発表する場を設けてきましたが、中心となる子ども達の世代交代も進まず、参加者が減少しました。そこで、現在は子ども達や、子ども達を支える周囲の大人に対して条例の周知、啓発を行う取り組みに力を入れています。

【委員】子ども会議は小学生のみ対象ですか。

【事務局】小学生だけではなく、18歳までの子どもが対象です。

【委員長】評価シートの分析評価に説明を追記していただくと良いと思います。

では、続いて議題(2)子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて、事務局から説明をお願いします。

【事務局】(説明)

【委員長】資料として出ていない箇所は今回の修正無しということで良いでしょうか。

【事務局】第4章の一部と第5章は次回の予定です。

【委員】60pの部活動支援について、費用補助はどのように行われていますか。

【事務局】以前の話という前提ですが、県大会や全国大会出場時における児童の交通費や大会参加費、部活動指導に対する謝礼などの支払いを行っています。また、全額ではなく一部補助となっています。

【委員】手続きにおいて、先生の負担が無いと良いと思います。

【事務局】それほど負担になるとは思われませんが、逆に手続きをしないと費用負担が増加してしまいますので、予算を適切に使っていただいていると思います。

【委員長】計画が大きくなり、所管事業が増えていますが、日進市の事業として重点を置くのは5つの基本目標の中でどれでしょうか。

【事務局】全て重要と考えています。その中でも具体的には、放課後の居場所づくりは重要と考えており、今年度から放課後子ども総合プランの実施により、放課後子ども教室を全校で実施しています。また、保育については定員拡充をしていますが、実態としては保育を希望する保護者は多いため、どう定員を上げていくかが重要であると考えています。

【委員長】社会的には子どもの貧困という問題もありますが、日進市はどうでしょうか。

【事務局】平成28年度に県下一斉の調査が行われましたが、県平均よりも日進市は低い数字でした。しかし、貧困が無いわけではありません。取り組みとしては、今年度からシルバー人材センターに依頼し、貧困世帯を対象に学習支援を行っています。

【委員長】今後も人口の増加が見込まれていますが、どのように考えていますか。

【事務局】赤池箕ノ手地区の区画整理も含めて、今後も人口増加が見込まれています。利用者のニーズについても次回お示ししたいと考えています。人口増の比率と同じように利用者ニーズが増えるわけではありませんが、なるべく実態に沿うようにしたいと思います。

【委員】68pの親子通園事業について、ニーズと体制はどのような状況でしょうか。私どもの大学でもケアセンターを実施していますが、障害のある子どもの参加事業について、参加者が減少している状況にあります。

【事務局】障害者福祉センターの中に子ども発達支援センターすくすく園があり、早期療育が必要な方を対象に受け入れています。定員としては充足しています。親子通園事業については、週2回実施しており、1歳半健診で支援が必要と判断された方を対象に親子で通って、午前中に簡単な療育を行うものです。この教室を経て、もう少し支援が必要な方はすくすく園につなぐなど継続的に療育を提供し、切れ目ない支援を提供しています。こちらの親子通園事業の定員24人も、ほぼ充足しています。

【委員】日進市の事業として、ケアセンターでも紹介したいと思います。

【委員長】場所は保健センターですか。

【事務局】保健センターの隣で週2回実施しています。

【委員】すくすく園との併用はできませんか。

【事務局】その前段階として実施するものです。

【委員】すくすく園以外に増やす予定はありますか。

【事務局】民間事業者にもご協力をいただき、利用者が事業所を選択できるような形にしていきたいと考えております。

【委員】市としての計画はありますか。

【事務局】増やそうとする意図はあります。受け入れる体制を取ってもらえるようなところがあれば、

利用者にはご案内したい。

【委員】小学校就学前は充実しましたが、入学後の状況はどうでしょうか。

【事務局】すくすく園は就学前のお子さんが通う施設であり、就学後は放課後デイなどの事業や相談支援員による巡回相談により、個別相談に応じる仕組みもあります。

【委員】補助教員はどうなると配置されますか。

【委員】予算が決まっているため、配置は難しいです。他市町よりは配置されている方ですが、十分ではないところもあります。すくすく園との関係も、特別支援コーディネーターの役割を持っている教員が学校から相談することもあるため、入学後にすくすく園との関係が切れてしまうわけではありません。

【委員】普通学級か特別支援学級のどちらが良いのか判断に迷う場面もあります。

【委員】そういった場合は、相談しながら進めていきます。

【委員長】続いて、議題（3）保育園の定員について事務局から説明をお願いします。

【事務局】（説明）

【委員長】3歳未満についてのニーズは新規施設で対応し、3歳以上のニーズを西部保育園で増やすという形です。それでは、ご質問が無ければ賛成の方の挙手をお願いします。

（全員賛成）

【委員長】保育園の定員増加については、全員賛成で承認されました。それでは、全体を通して何か他にあればお願いします。

【委員】人口増加イコール幼稚園の増加ではありません。今は働くお母さんが増えています。県が幼稚園での2歳児預かりも可能とするような変更を考えています。すぐに実施できるわけではありませんが、検討していきたいと思います。また、幼稚園としても利用者ニーズに応えるため、夏休み期間もお盆の1週間以外は開園します。幼稚園としては非常に厳しい状況であり、今後幼保連携型か幼稚園型か、各園で考えていかないとはいけません。

【事務局】お子さんを預かるのは幼稚園も保育園も同じであり、連携を図っていきたく思いますので、認定こども園への移行などのご相談があればお話をいただきたい。

【委員長】日進市の認定こども園はどういった状況ですか。

【事務局】保育所型が1園、認可外である地方裁量型が1園の計2園です。

【委員】小規模に移行していると見受けられるので、0、1、2歳の受け皿が大切です。地区によっては身近なところに必要となったとき、幼稚園をどう活用していくのかということも視野に入れておいてほしい。地区が限定されることなく、身近なところで通える範囲が増えると良いと思います。

【委員】幼稚園として夏休みも開園しますが、無料実施です。

【事務局】子ども・子育て支援新制度にのった幼稚園となると良いと思います。

【委員長】それでは本日の議事は全て終了しましたので、事務局にお返しします。

【事務局】たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。その他ということで、事務局からご連絡します。次回の開催については、10月の開催を予定しています。決定次第改めてご案内いたしますので、よろしくをお願いします。本日はありがとうございました。

（閉会） 午前11時30分

\*次回開催日時 平成29年10月ごろ（予定）